

# 平成29年度教員の教育力向上のための授業改善研修会 発表報告

発表者：西尾 巧

---

公開授業（分野）：アニメーション論（共通科目）

対象学年（履修区分）：2・3年（選択必修）

公開日時：平成29年9月22日（金） 5限

---

## ■公開した授業の該当科目全体における位置づけ・進め方や工夫した点

全15回講義の初回。2回目以降の作家紹介、作品紹介、新旧作品比較等への導入であり、学生が意識を持って考えながら授業参加できるよう、この初回を充実させることに焦点をおいた。

特に以下の5点をポイントとし、授業の改善につとめた。

1. 授業への入り方、準備の仕方を十分理解させるため、授業内容と取り組み方を明確に説明した。
2. Keynoteを使用したプレゼンテーションとし、わかりやすく見やすい授業を心がけた。
3. 教室に設置された高解像度プロジェクターを最大限に活用し、上映映像の細かいテクスチャーや映像全体から滲み出る作品の雰囲気まで感じ取れるよう、静止画、動画とも可能な限りBlu-rayやHD品質の高解像度映像を使用し、さらに静止画での拡大表示を使い、わかりやすく、感じ取りやすいプレゼンテーションを心がけた。
4. 学生が自分なりに考察し、自身の制作のヒントとして読み解けるよう、授業の流れ、コメントを工夫した。
5. 2回目以降、美大生として一度は見ておくべきアートアニメーションを中心に、今までに見たことのない映像、見たことのない作家、見たことのない手法について授業を進めるため、この部分に対する丁寧な説明を行った。

## ■参観者や研修会での意見交換を踏まえ、次年度への改善計画等

以下の3点をポイントとし、授業改善につとめる。

1. 旬な出来事や話題と授業内容をリンクさせることにより、学生の理解度を上げる。また、現代と過去を比較することにより時代、場所等による評価の変化について考えさせる。
2. 学生がよりアクティブに授業参加できるよう、授業の中に質疑応答形式を取り入れる。
3. 授業終わりに行っている200字コメントに対するリアクションを加える。